

令和 5年度 事務事業評価表【評価版】(令和 4年度実績)

事業名：ガラス工芸館管理運営経費

【事業番号】

476】

生涯学習課 生涯学習係

政 策	07 生涯学習・文化	戦 略						
取 組 の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的な施策						
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・ガラス工芸館
- ・ガラス工芸家

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	敷地面積	m ²	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標 2	延床面積	m ²	242.72	242.72	242.72	242.72

手段（事務事業の内容、手法）

- ・施設の管理運営
- ・ガラス工芸家の創作活動公開

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	開館日数	日	48	35	61	59
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、工芸の分野における文化の振興に資する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	来館者数	人	657	515	1,131	1,131
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	1,886	2,104	1,926	2,117
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総 事 業 費 (A+B)		千円	2,649	2,865	2,686	2,885

事業内容（主なもの）			費用内訳（主なもの）
4年度	・ガラス工芸館の管理運営 ・ガラス製作体験事業の開催		管理運営費 1,926千円

事業開始背景

江別市ガラス工芸館は、野幌代々木町にあった「旧石田邸」を、町並みに個性とうるおいを与える資源として保存し、建物の周辺とあわせて市民の憩いの場として活用するため、平成4年に市が土地と建物を買い上げ、改修整備を加えて平成6年4月にオープンした。

事業を取り巻く環境変化

当該施設は、ガラス工芸家が創作活動を行う場でもあることから、その活動ぶりを開館以来公開してきた。平成15年度からは、適正な管理運営と良好な創作環境の維持を図るため、市民等への公開期間及び日数の見直しを行った。16年3月に旧工芸家が退所後、16年12月から新工芸家が入所し活動を開始した。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）

成果動向 及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がる	新型コロナウイルス感染症の影響による休館が無かったため、規定の日数開館し、それに伴い来館者数も令和3年度より増加した。
	どちらかといえば上がる	理由根拠
成果向上 余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	成果向上余地 大	工芸作家の創作活動に支障をきたさない範囲で、ガラスのコップ製作体験会事業を実施したほか、対外的な宣伝を継続してきたことで、来館者数が回復傾向にある。
	成果向上余地 中	理由根拠
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	ある	建物の維持補修等に係る経費や工芸作家の創作活動に必要な燃料費であることから、コストの削減は難しい。
	なし	理由根拠

令和5年度 事務事業評価表【評価版】(令和4年度実績)

事業名：子どもの文化活動育成事業（土曜広場）

【事業番号】

479】

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化	戦 略						
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的施策						
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金
								事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	推進委員数	人	12	12	18	19
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

子どもの文化活動育成事業「土曜広場」推進委員会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	827	837	1,030	1,100
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

推進委員会が、地域資源となる地域に在住する伝統的文化活動等の指導者の方々の協力を得て、土曜広場を提供することで、子どもたちの日本文化に対する理解を深め、文化芸術活動を拡充する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	開催学校数	校	0	17	17	17
成果指標 2	参加者数	人	0	311	365	400

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	827	837	1,030	1,100
正職員人件費 (B)		千円	1,907	1,902	1,901	1,921
総 事 業 費 (A+B)		千円	2,734	2,739	2,931	3,021

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各小学校の施設を活用して日本の伝統的文化活動を体験・学習する機会を提供する推進委員会に対し、補助金を交付する。 【土曜広場】 ・会場：市内小学校17か所 ・実施日：月2回土曜日午前中（5回程度／校） ・活動種目：囲碁、手芸、百人一首など15種類程度 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金 1,030千円

事業開始背景
平成14年度江別市地域ぐるみ教育活動支援事業の一環として開始する。
事業を取り巻く環境変化
平成15年度は、文部科学省の委託事業である地域教育力活性化支援事業のモデル事業に位置づけられ実施している。平成15年3月の中央教育審議会答申では、「日本の伝統・文化の尊重、郷土や国を愛する心と国際社会の一員としての意識の涵養」が掲げられた。 平成16年度は伝統文化活性化協会からの補助、平成17年度以降は市からの補助により実施。 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度は中止（土曜広場のつどいのみ実施）、令和3年度及び4年度は活動種目、実施日数を減らして実施した。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）											
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？											
<p>成果動向及び原因分析</p> <table border="1"> <tr> <td>上がっている</td> <td>理由根拠</td> <td>料理や百人一首等の新型コロナウイルスの感染リスクが高い種目の実施見送り、開催回数の見直しなどの対策を行なながらも、目標参加人数を達成することができた。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		上がっている	理由根拠	料理や百人一首等の新型コロナウイルスの感染リスクが高い種目の実施見送り、開催回数の見直しなどの対策を行なながらも、目標参加人数を達成することができた。	どちらかといえば上がっている			上がっていない			
上がっている	理由根拠	料理や百人一首等の新型コロナウイルスの感染リスクが高い種目の実施見送り、開催回数の見直しなどの対策を行なながらも、目標参加人数を達成することができた。									
どちらかといえば上がっている											
上がっていない											
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？											
<p>成果向上余地</p> <table border="1"> <tr> <td>成果向上余地 大</td> <td>理由根拠</td> <td>・新型コロナウイルスの感染法上の取扱いの変更等により、中止していた講座を再開させるなどして活動種目を充実させることで、受け入れ幅が広がり、成果向上につながる可能性は高い。 ・指導講師や推進委員、各校の運営協力者が増えることで、活動内容の充実も期待できる。</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果向上余地 大	理由根拠	・新型コロナウイルスの感染法上の取扱いの変更等により、中止していた講座を再開させるなどして活動種目を充実させることで、受け入れ幅が広がり、成果向上につながる可能性は高い。 ・指導講師や推進委員、各校の運営協力者が増えることで、活動内容の充実も期待できる。	成果向上余地 中			成果向上余地 小			
成果向上余地 大	理由根拠	・新型コロナウイルスの感染法上の取扱いの変更等により、中止していた講座を再開させるなどして活動種目を充実させることで、受け入れ幅が広がり、成果向上につながる可能性は高い。 ・指導講師や推進委員、各校の運営協力者が増えることで、活動内容の充実も期待できる。									
成果向上余地 中											
成果向上余地 小											
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？											
<p>コスト</p> <table border="1"> <tr> <td>ある</td> <td>理由根拠</td> <td>本事業は、教材費のかかるものは参加者の受益者負担を原則としており、指導・運営に当たる関係者については、ボランティアとしての対応を基本としている。補助金の大半は交通費を賄う程度の報償費と保険加入に係る費用のため、経費の削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		ある	理由根拠	本事業は、教材費のかかるものは参加者の受益者負担を原則としており、指導・運営に当たる関係者については、ボランティアとしての対応を基本としている。補助金の大半は交通費を賄う程度の報償費と保険加入に係る費用のため、経費の削減は難しい。	なし						
ある	理由根拠	本事業は、教材費のかかるものは参加者の受益者負担を原則としており、指導・運営に当たる関係者については、ボランティアとしての対応を基本としている。補助金の大半は交通費を賄う程度の報償費と保険加入に係る費用のため、経費の削減は難しい。									
なし											

令和 5年度 事務事業評価表【評価版】(令和 4年度実績)

事業名：市民文化ホール管理運営事業

【事業番号

481】

生涯学習課 生涯学習係

政 策	07 生涯学習・文化	戦 略						
取 組 の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的な施策						
開始年度	平成 9年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民文化ホール

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	52,370	53,224	56,358	54,508
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

適切な維持管理及び運営のもと、市民の芸術文化活動の発展を図り、心豊かなまちづくりに寄与する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	利用者数	人	14,023	23,340	40,252	35,600
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	288,320	53,224	56,378	54,598
正職員人件費 (B)		千円	3,051	1,141	1,141	1,152
総 事 業 費 (A+B)		千円	291,371	54,365	57,519	55,750

事業内容（主なもの）			費用内訳（主なもの）
4年度	・指定管理協定の締結 ・施設の修繕		指定管理料 56,358千円

事業開始背景
<ul style="list-style-type: none"> 平成4年に市民から要望あり。大麻公民館改築と併せて複合施設としての計画を策定 平成7年着工 平成9年10月オープン
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> 江別市民の主体的な芸術文化活動の重要な拠点として多様に活用されている。 施設設備の老朽化 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和2年4月18日～令和2年5月31日を臨時休館とした。 新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、令和3年5月16日～令和3年6月20日及び令和3年8月14日～令和3年9月30日を臨時休館とした。 令和4年度指定管理更新時に、指定期間を4年間から8年間に変更した。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	<p>上がっている どちらかといえば上がっている 上がっていない</p> <p style="text-align: right;">理由根拠</p> <p>感染拡大防止と社会経済活動の両立の観点から業種別ガイドラインが見直され、中止していたイベントが再開するなど、イベント開催件数が増えたほか、集客の多い演奏会等が開催されたことで利用者数が増加しました。</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	<p>成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小</p> <p style="text-align: right;">理由根拠</p> <p>業種別ガイドラインの改訂により、事業における人数等の制限が緩和され、イベントの開催件数が増えることで、コロナ禍前の利用者数まで回復することが見込まれる。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	<p>ある なし</p> <p style="text-align: right;">理由根拠</p> <p>燃料費等の高騰のほか、施設の老朽化が進み、維持補修費が増加していることなどからコスト削減は難しいが、今後も指定管理者と協議し、工夫や改善による効率性を追求していく。</p>

令和5年度 事務事業評価表【評価版】(令和4年度実績)

事業名：江別市文化協会補助金（文化協会事業・市民文化祭開催支援事業）

【事業番号】

483】

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的な施策						
開始年度	一	終了年度	一	区分1	継続	区分2	単独	補助金
								事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

NPO法人江別市文化協会

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	江別市文化協会加盟会員数	人	1,782	1,686	1,565	1,565
対象指標 2	加盟団体数	団体	110	98	98	98

手段（事務事業の内容、手法）

市内の文化団体相互の連絡協調とその活動の促進を図るとともに、芸術文化・生活文化を通じて情操豊かな市民文化の振興と健康で文化的なまちづくりに寄与するための事業を行うNPO法人江別市文化協会に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	2,750	2,750	2,750	2,750
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市文化協会会員による自主的・主体的な芸術文化活動が活発に行われ、広く市民にその活動が浸透し、新たな活動領域の出現や団体等の形成、会員の増加を促進する。
また、市民文化祭を開催することで、発表や鑑賞等を契機に芸術文化活動への興味関心が高まり、市民主体のより積極的な活動が行われる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	主催・支援事業数	件	9	10	13	12
成果指標 2	市民文化祭参加者数（出演者+来場者）	人	5,583	4,783	10,269	8,000

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)		千円	2,750	350	2,750	2,750
正職員人件費(B)		千円	2,670	761	2,281	2,305
総事業費(A+B)		千円	5,420	1,111	5,031	5,055

4年度	事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
	・NPO法人江別市文化協会に対し、事業費を補助 【対象事業】 ①会員交流事業、②会員拡大・研修・活動促進事業、③顕彰事業、④文化活動発信事業、⑤えべつ文化未来事業、⑥文化振興調査研究事業 ・市民文化祭の開催事業経費から事業収入を控除した額を補助 【部門別事業】 ①舞台部門（10事業）②展示部門（10事業） ③文芸部門（3事業）④生活文化部門（4事業）		・補助金（文化協会事業・市民文化祭開催支援事業） 2,750千円 ※文化協会事業：350千円、市民文化祭開催支援事業：2,400千円	

事業開始背景
<ul style="list-style-type: none"> 昭和41年に市内18の文化団体によって創立された。 市民文化祭は、昭和27年に江別町民文化祭として第1回が開催され、その後平成13年から文化協会の事業に位置付けして実施する現形態となり、本来あるべき市民の主体的な取組みへと転換が図られた。
事業を取り巻く環境変化
<ul style="list-style-type: none"> 文化協会は昭和41年に創立され、長年にわたり江別市民の文化活動の普及振興に貢献している。市内の文化関係施設の充実が進んだ現在、市民の創造的な芸術文化活動拡充への多様な取組が求められており、協会の役割は今後も増大することが予想され、会員の資質の向上や組織・指導体制充実のための取組への支援が必要である。 令和2年及び3年に開催された市民文化祭では、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した種目もあり、大きな影響を受けたが、令和4年は十分な感染対策を取りながら、中止していた種目を再開するなどしております、従前の規模へと回復傾向にある。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	成果動向及び原因分析	<p>上がる</p> <p>どちらかといえば上がる</p> <p>上がっていない</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年にNPO法人化したことでの各種文化団体の活動支援や育成への体制が充実している。 新型コロナウイルスの影響はあるものの、令和4年度の支援事業数が前年の10事業から14事業に増加するなど回復傾向が見られ、市内の文化活動の発展に寄与している。 市民文化祭においては、感染対策を講じつつ、多数の種目を再開することで、参加人数の増加につながった。
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化団体への支援体制を充実させることで、新たな団体や加盟会員の増加が見込まれる。 新型コロナウイルスの感染法上の取扱いの変更等により、徐々にではあるが、団体・サークル活動の停滞状況の緩和につながる見込みがある。
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	コスト	<p>ある</p> <p>なし</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体の自助努力による組織強化や自主財源の確保等の方向性を探ることは可能であるが、財政基盤は脆弱であり急激なコストの削減に踏み切ることは難しい。 市民文化祭においては、入場料や参加者負担金の増額によって受益者負担を増やすことは、成果の低下（参加者数の減少）につながることが難しく、また、実施主体の文化協会には経費削減による実施を求め、補助金額を減額してきたが、これ以上の削減は難しい。 <p>※補助金額（市民文化祭分）：H13:3,000千円、H15:2,600千円、H16:2,500千円、H18～:2,400千円</p>

令和5年度 事務事業評価表【評価版】(令和4年度実績)

事業名：文化振興奨励事業

【事業番号】

484】

生涯学習課 生涯学習係

政策	07 生涯学習・文化	戦略						
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的な施策						
開始年度	平成13年度	終了年度	一	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標1	市民	人	119,883	119,777	119,333	119,333
対象指標2						

手段（事務事業の内容、手法）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に対し、「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき全国大会等出場奨励金を支給する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標1	奨励金支給個人数	人	1	2	0	4
活動指標2	奨励金支給団体数	団体	0	0	1	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人や団体を奨励することにより、さらなる意欲の向上が図られ、地域の文化・芸術を担う人材が育成される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標1	入賞個人数	人	0	2	0	4
成果指標2	入賞団体数	団体	0	0	0	2

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事業費(A)	千円	10	20	60	240	
正職員人件費(B)	千円	381	380	380	384	
総事業費(A+B)	千円	391	400	440	624	

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	各種芸術文化大会・コンクールに北海道を代表して出場する個人・団体に奨励金を支給する。 ・個人：10,000円以内。本市に在住していること。 ・団体：100,000円以内（10人未満の団体は、出場者数に10,000円を乗じた額以内の額）。本市に主たる活動の場を有し、かつ、その構成員の8割以上が本市在住の市民で組織されていること。 ※いずれも就学以前の者を除く。	・全国大会等出場奨励金60千円

事業開始背景
本事業は、各種文化活動において優秀な成績を収め、全国大会に出場する個人や団体に対する奨励制度を設けるため、「江別市スポーツ大会出場奨励金支給要綱」にならい平成13年度に開始された。
事業を取り巻く環境変化
「江別市芸術文化大会・コンクール出場奨励金支給要綱」に基づき運用されている。 新型コロナウイルスの影響により、対面型の全国大会・コンクールが中止されたものもある。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	新型コロナウイルスの影響により、全国規模の大会・コンクールが中止又はオンライン手法への変更となったものが多く、支給対象者が減少した。 ↑ 理由根拠
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	▪制度の周知を拡大することで、活動を行う個人や団体の意欲が向上し、入賞件数の増加につながる可能性はある。 ▪新型コロナウイルスの影響により全国大会をオンラインで開催するものも見受けられ、支給対象となる大会・コンクールが減少する可能性がある。 ↑ 理由根拠
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	▪個人や団体の活動に対する奨励金の支給事業であり、対象を減らすことなくコストを削減することは難しい。 ↑ 理由根拠

令和 5年度 事務事業評価表【評価版】(令和 4年度実績)

事業名 : 市民芸術祭開催支援事業

【事業番号

488】

生涯学習課 生涯学習係

政 策	07 生涯学習・文化	戦 略						
取 組 の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的な施策						
開始年度	平成 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金
								事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術文化の振興を目的とする市民組織

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	構成関係団体数	団体	1	1	3	3
対象指標 2	構成委員数	人	8	8	45	27

手段（事務事業の内容、手法）

幅広い市民参加及び専門家による創作を発表する事業を実施する各実行委員会に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	500	500	1,500	1,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動を活発に行い、江別市独自の創造型芸術文化活動を創出する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	市民芸術祭の参加者数（参加者+鑑賞者）	人	165	178	12,994	12,190
成果指標 2	開催事業数	回	2	2	4	4

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	500	500	1,500	1,400
正職員人件費 (B)		千円	2,670	2,282	2,661	2,689
総 事 業 費 (A+B)		千円	3,170	2,782	4,161	4,089

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台部門（市民ミュージカル公演 3年に1回。コロナの影響により直近はR元） ・音楽部門（まちかどコンサート 年2回） ・展示部門（市民美術展受賞作品展 5年に1回、R4に開催。まちなかアート月間 年1回） ・各実行委員会に対し補助金を交付する。 ※新型コロナウイルスの影響により、市民ミュージカルの本公演はR6以降に延期。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金（まちかどコンサート実行委員会）500千円 ・補助金（市民美術展受賞作品展実行委員会）500千円 ・補助金（まちなかアート月間実行委員会）500千円

事業開始背景
平成5年度に江別市の芸術文化の振興と質の向上を目指して市民と行政の連携協調による組織化を行った。主な機能としては、市民文化祭の開催と芸術鑑賞型事業の市民組織による開催を中心としたものであった。
事業を取り巻く環境変化
平成13年度に市民文化祭を文化協会事業に組み替えし、市民芸術祭事業を市民参加による創造型の事業に転換を図り現在に至っている。事業が固定化し、市民芸術祭実行委員会があまり機能しない状態が続いてきたことから同委員会を解消し、独自の実行委員会ごとに事業を実施している。 なお、令和4年度からの新規事業として、若著作家の作品を市内店舗や民間施設に展示する「えべつまちなかアート月間」の実行委員会への補助を行っている。（支援は令和6年度までを予定）

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	成果動向及び原因分析	<p>上がる どちらかといえば上がる 上がっていない</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者数は、各年度における事業内容及び事業数に大きく左右される。R4年度については、5年に1度の開催の市民美術展受賞作品展の開催年であったこと及びまちなかアート月間事業において、医療施設など多数の鑑賞者の目に触れる会場を想定以上に調整できたことで大幅な参加者数の増となった。 令和4年度は、市民ミュージカルの開催準備事業を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により翌年以降に延期となった。
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	成果向上余地	<p>成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民参加による総合柄の取組みとしては唯一のものであり、成果向上の余地はある。
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	コスト	<p>ある なし</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の補助金の活用や自主財源の確保等の方向性を探ることは可能であるが、各実行委員会の財政基盤は脆弱なため急激なコストの削減に踏み切ることは難しい。

令和 5年度 事務事業評価表【評価版】(令和 4年度実績)

事業名：芸術鑑賞招へい事業

【事業番号】

619】

生涯学習課 生涯学習係

政 策	07 生涯学習・文化	戦 略						
取 組 の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的な施策						
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金
								事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

芸術鑑賞機会の充実を目的とする市民団体

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	補助金交付市民団体数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

芸術文化鑑賞機会の充実を目的とする市内の芸術文化活動団体に対し、「江別市芸術文化奨励補助金交付要綱」に基づき補助金を交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	1,400	1,250	1,400	1,400
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民の主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動が活発に行われる。
- ・質の高い芸術鑑賞機会が増える。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	鑑賞者数	人	659	891	1,748	1,500
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	1,400	1,250	1,400	1,400
正職員人件費 (B)		千円	763	761	760	768
総 事 業 費 (A+B)		千円	2,163	2,011	2,160	2,168

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	・プロの団体・個人を招へいし、質の高い舞台芸術公演を実施する。	・音楽関係公演 1,200千円 ・演劇関係公演 200千円

事業開始背景
市民が主体となり、創造性豊かな芸術文化の振興が求められる時代背景にあって、平成13年4月に江別市芸術文化奨励補助金交付要綱の改正を行い、新たに市民の手による芸術文化事業の充実を図るため、市民団体等が行う質の高い鑑賞招へい事業に対する支援を行うこととした。
事業を取り巻く環境変化
平成27年度から江別市民音楽振興会に対する支援を開始。 令和2年度から江別演劇プロジェクトWindsに対する支援を開始。 令和元年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、公演の中止や延期、入場者数の制限など大きな影響を受けている。

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	成果動向及び原因分析	<p>上がる</p> <p>どちらかといえば上がる</p> <p>上がっていない</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民組織の主体的な活動について、音楽や演劇など、質の高い舞台芸術公演の鑑賞機会の充実が図られることは、市民からも好評である。 新型コロナウイルス感染拡大により、令和元年度から令和3年度にかけて公演の中止・延期が相次ぎ、鑑賞者数は大幅な減少傾向が続いたが、令和4年度においては、イベントの開催制限の緩和等により増加に転じた。
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスに係るイベントの開催制限の緩和等により鑑賞者数は令和3年度よりも大幅に増えており、芸術鑑賞の機会への市民ニーズは高いと言える。 組織力、資金力、事業運営のノウハウなどを兼ね備えた市民団体の出現は少なく、多様性のある展開となるには時間がかかる。
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	コスト	<p>ある</p> <p>なし</p> <p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体の自助力による組織強化や自主財源の確保等の方向性を探ることは可能であるが、補助金額の減額は成果の低下を招くこととなり難しい。

令和 5年度 事務事業評価表【評価版】(令和 4年度実績)

事業名 : 北海道林木育種場旧庁舎保存利活用推進事業 【事業番号 6936】 生涯学習課 生涯学習係

政 策	07 生涯学習・文化	戦 略						
取 組 の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的な施策						
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標								
対象（誰、何に対して事業を行うのか）								
市民								

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	市民	人	0	0	119,333	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）						
北海道林木育種場旧庁舎の歴史的価値の伝承と地域の交流促進のため、セミナー・ワークショップを行う。						
指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	実施事業数	件	0	0	3	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
・市民が歴史的文化的価値に触れる機会が増えることにより、建物への理解を深め、文化財保護の意識を高める。						
・市内大学関係者による会合等での利用を推進する。						
・在宅ワーカーや起業家、個人事業主の利用を推進し、北海道林木育種場旧庁舎がビジネスの場につながる。						

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	事業参加者数	人	0	0	113	35
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)	千円	0	90,162	2,885	430	
正職員人件費 (B)	千円	0	2,662	1,521	1,152	
総 事 業 費 (A+B)	千円	0	92,824	4,406	1,582	

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
4年度	・市民対象の建物歴史セミナー開催 ・市内大学生対象の施設活用セミナー・ワークショップ開催 ・コワーキングビジネス体験会（在宅ワーカーや起業家、個人事業主等を対象とした体験会）開催	・建物歴史セミナー 74千円 ・大学生活用セミナー 225千円 ・コワーキングビジネス体験会 1,129千円 ・施設等修繕費 1,247千円 ※施設引渡しに伴う改修工事の一部がR4に引き続いたもの。

事業開始背景
令和3年9月からの北海道林木育種場旧庁舎の民間利活用開始に当たり、令和3年度には地方創生拠点整備交付金を活用し、必要最低限の劣化部修繕・安全性確保のための改修を行い、令和4年度以降は、施設の歴史的価値の伝承及び民間事業者による利活用の促進のため、施設の周知啓発に係る事業に取り組んでいる。
事業を取り巻く環境変化
北海道林木育種場旧庁舎は、令和3年9月に民間事業者による利活用が始まり、令和4年4月に本社移転、5月にカフェがオープンしている。

令和 4年度の実績による担当課の評価（令和 5年度7月時点）		
成 果 動 向 及 び 原 因 分 析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	林木育種場旧庁舎におけるセミナーはR4年度が初の開催だったこともあり、いずれのセミナーもほぼ定員に達する参加者が集まつたため。 ↑ 理由 根拠
成 果 向 上 余 地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	民間事業者による利活用がさらに進み、施設の認知度が向上することで、市としての周知活動の必要性が低下するため。 ↑ 理由 根拠
コ ス ト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	必要最低限の経費の中で実施しており、これ以上のコスト削減は成果の低下を招く可能性が高い。 ↑ 理由 根拠

令和 5年度 事務事業評価表【評価版】(令和 4年度実績)

事業名：旧町村農場保存活用推進事業

【事業番号

6975】

生涯学習課 生涯学習係

政 策	07 生涯学習・文化	戦 略						
取 組 の 基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	具体的施策						
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

旧町村農場

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
対象指標 1	旧町村農場	施設	0	0	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

令和 4 年度 施設利用ニーズ調査等・実施設計
令和 5 年度 改修工事

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
活動指標 1	事業費	千円	0	0	12,138	202,991
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化した施設を改修するとともに、長期的に市民に親しまれ、多くの人に利用される施設となるよう機能強化を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
成果指標 1	改修された施設数	施設	0	0	0	1
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度当初
事 業 費 (A)		千円	0	0	12,138	202,991
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,901	2,305
総 事 業 費 (A+B)		千円	0	0	14,039	205,296

事業内容（主なもの）			費用内訳（主なもの）
4年度	・施設利用ニーズ調査等 ・市民意見の聴取 ・実施設計		施設利用ニーズ調査等 1,468千円 実施設計 10,670千円

事業開始背景
昭和3年に建築された旧町村農場は、江別市が平成7年に取得し、平成8年から江別の酪農の歴史を伝える施設として広く利用されているところであるが、建築から90年以上が経過し、大規模な改修が必要な状況である。このため施設を改修し、江別市の酪農景観と歴史、北海道酪農の先駆者である町村敬貴の業績を伝える場だけでなく、新たな機能を付加した施設へ改修を図ることとなった。
事業を取り巻く環境変化

令和4年度の実績による担当課の評価（令和5年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	計画どおりに進んでいる。 ↑ 理由根拠
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	計画どおりに進んでいる。 ↑ 理由根拠
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	整備方針の策定及び実施設計は既に終了し、工事が進行している。 ↑ 理由根拠